

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和6年度分）

施設	名 称	栃木市老人福祉センター泉寿園					
	所 在 地	栃木市今泉町1-2-7					
	施設内容	老人福祉施設					
指定管理者	名 称	(株)メディカルフィットネスとちの木					
	所 在 地	栃木市野中町 5 5 3					
	主な業務内容	栃木市老人福祉センター泉寿園の管理運営					
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み							
評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値		実績値	
	運営方針研修			4 回		4 回	
	利用案内掲示箇所			6 か所		8 か所	
	利用者満足度			8 0 %		9 2 %	
	参加者アンケート満足度			8 0 %		9 6 %	
	参加者アンケートによる事業改善数			3 件		9 件	
評価	配点	第 1 次評価（指定管理者評価）			第 2 次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1. 0	25	I	1. 0	25
指定管理者コメント	①老人福祉法や栃木市老人福祉センター条例等に基づいた施設運営の基本方針を明文化し、事務所内に掲示しました。定期的に行った運営方針研修の中では、施設運営の基本方針や事業計画、関連規定等について職員への周知と理解を図りました。外部との意見交換等で得られた内容は、こうした研修の機会に職員間での議題とし、業務改善について協議しました。 ②施設利用に関する案内を館内 8 か所に掲示し、利便性を確保しました。特にエントランスからの動線に沿って大きく案内掲示スペースを設け、利用者の目に触れやすく、見学の方にもすぐに案内ができるようにしています。利用者向けの販売事業では販売品目のリクエストを取り入れたりと、割引を実施しました。年度末には大広間のレイアウトを一新し、全面的にテーブル席を設けました。高齢者の足腰への負担に配慮したのですが、場所取りのトラブルを回避する目的もあり、席数は以前の倍となっています。 ③利用者アンケートは講座やイベントの開催時に積極的に協力の声掛けを行い、様々な層から意見が収集できるよう実施しました。回答の集計は他の施設とも共有し、改善や発展の参考としています。事業参加者を対象に実施したアンケートや参加者との直接のやり取りの中では、以降の開催時に反映、見直しが必要な貴重な意見をいただき、9 件の対応を行いました。特に参加定員に関しては、なるべく多くの希望者に参加してもらえるよう調整を行いました。総じて高い満足度は得られたと思います。 ④施設や職員への声に対してはお話をよく伺い、対応が可能なもの、困難なものを段階的に区分したうえで、必要な部署や外部団体と協議を行うなどしました。具体的には 8 件の対応例がありましたが、利便性の向上を求めるものが多い傾向です。また昨年度同様他の利用者に対しての不満や意見も複数ありましたので、利用者同士のトラブルに繋がらぬよう対応に努めました。						
施設所管課コメント	利用者の満足度が 9 6 % ととても高い数値となっている。大広間をテーブル席にしたこと等、改善できるところを積極的に改善していることも満足度のアップにつながっていると感じている。さらに他園との情報共有も積極的に行っている。						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	施設利用者数			21,000人	20,891人	
	広報誌掲載			8回	9回	
	設置目的に合致した事業			20事業	36事業	
	地域・関係団体との協働事業			6事業	14事業	
	新規事業			3事業	14事業	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	I	1.0
指定管理者コメント	①健康増進や教養向上、レクリエーションの提供等を目的とした事業を36事業、施設の利便性の向上として7事業、その他併設する児童館事業への協力や学生の実習の受け入れをを実施しました。年間を通して様々な企画やアイデアを具体化したことや、職員が特技や知識を生かして講座を開催してみるなど、結果として計画を大きく上回る数の事業実施に取り組みました。年間の利用者数は20,891人でしたが、事業参加者数は7,010人と昨年度の5,259人を大きく上回りました。 ②施設日より、施設ホームページ、広報誌を用いた情報発信は全て計画以上に行い、館内掲示においても施設の情報や魅力が広く伝えられるよう、積極的に取り組みました。地元ケーブルテレビにおいては、サークル活動の紹介や、地域協働のイベントの取材がありました。 ③利用時間の延長と年末の開館を実施したほか、地域の事業開催への協力として2日間の休館日の開放を行いました。また当施設では初開催となった認知症普及啓発イベントでは入館無料対応を実施し、新規利用促進を図りました。新規事業は計画を大幅に上回る14事業を展開しました。 ④地域・外部団体との協力のもとで、14事業計48回の活動を行いました。昨年度から継続となったものでも、関係者との打ち合わせの中で新たな要素や改善点を話し合い、より充実し特色のある事業となるよう連携してきました。例として専門学校生の臨地実習時には、スマートフォン教室の講師と相談し、普段と違ったグループレッスンの形式で生徒の皆さんにサポート役として参加してもらいました。いまいずみ児童館とも10事業で連携を行いました。					
施設所管課コメント	施設利用者数は目標を若干下回ったものの他の項目で目標を大きく上回っている。また、広報活動も広報とちぎやケーブルテレビを積極的に利用している。計画を大きく上回る数の事業を実施しており、地域や外部団体との協働での事業に取り組んでいただいた。					

(3) 施設経費の削減の取組み						
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか				
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか				
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか				
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	本社及び税務会計事務所によるチェック数			12回	16回	
	最大需要電力値			65kw以下	51kw	
	重油使用量			年間17,000ℓ	16,200ℓ	
	委託業者見積合わせ回数			8回	9回	
	施設修繕数（職員による小破修繕）			5件	11件	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	15	I	1.0	15	I	1.0
指定管理者コメント	①指定管理料の収支手続については四半期毎の財務委員会に加え、専任の担当者と毎月の収支及び予算状況の確認を実施し、税理士の指導・助言のもと適切で透明性の高い管理を行いました。利用料金の収支手続については、担当者と責任者の複数チェックを徹底し、市に毎月の運営状況報告を行いました。 ②デマンド監視装置を用いた最大需要電力量の管理と、集中コントローラーによるエアコンの一括管理で、電気使用料の高騰の低減と、施設利用状況を考慮した快適性を損なわない環境維持を実践しました。重油のオイルタンクの清掃に伴いタンク内の残油の廃棄がありましたが、年間使用量については想定内となるよう管理ができています。 ③職員では対応できない専門業務については、複数業者からの見積もり合わせを行いました。人件費や物価の上昇もあり、委託金額の維持も難しい中ですが、可能な部分では業務内容の見直し等の協議を行っています。また支出規模の大きいA重油は価格の見積もり合わせを毎月行い、発注業者を選定しました。緑地管理は経験豊富な職員が実施し、経費削減に努めました。 ④施設・設備・備品等について、計画的な整備・保守点検を実施したほか、日常業務の点検による問題点の早期発見に努め、状態に応じた必要な手入れ等を行うことで良好な維持管理を実施しました。修繕や更新にあたっては利用者からの意見・要望にも配慮し、優先度や必要性を十分に考慮した予算執行を行いました。日常点検結果における軽微な修繕や調整箇所は、可能な範囲で職員でも対応し、迅速な処置と機能の維持に努めました。なお管理運営費にて削減できた部分においては、年度末に大広間のテーブルや集会室の会議用の椅子の購入等を行っています。また児童館での工作に用いるリサイクルごみの再利用に協力しました。					
施設所管課コメント	燃料費の高騰の中、削減できている。最大需要電力値も昨年度59kwから51kwに削減できた。また、削減したことにより利用者サービスの低下にはつながっていない。また、維持管理に関しても、適切に対処しており良好な維持管理となっている。					

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか				
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか				
	③	職員の福利厚生は充実しているか				
	④	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか				
	⑤	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数			4 人	4 人	
	職員研修会実施回数			8 回	10 回	
	外部との意見交換による業務改善数			3 件	4 件	
	外部研修参加回数			1 回	3 回	
	経常収支比率			100%	100.6%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	①労働基準法を遵守した適切な勤務体制下で、仕様書に定められている条件を満たした職員を配置し適切に管理運営を行いました。また意見交換や情報共有の場として、市内老人福祉センターとの館長会議の他に、社内での運営会議を定期的に行いました。外部と連携して取り組むものを中心に、4件の業務改善を進めました。 ②年間計画に沿って社内研修会を実施し、外部研修への参加も活用しました。定期的な運営方針研修会では、施設が取り組むべき課題や目標等について職員同士で話し合う機会とし、職員と施設の相互成長を図りました。 ③計画のとおり実施し、職員の勤労意欲や能率の向上、健康維持を図りました。施設で行う健康増進事業には、事業内容の把握も兼ねて、希望する職員には積極的に参加してもらいました。 ④健康保険料・各種税金等の納付は、税務会計事務所及び社会保険労務士の指導の下、適切に行いました。 ⑤令和6年度の法人決算では、経常収支比率は100.6%となり、財政状況に問題はありません。					
施設所管課コメント	施設利用者の動向を見て、研修内容を変更するなど柔軟に取り組んでいる。また、職員の対応も好感がもてる対応である。また、会計に関しても適切に行っていると判断している。					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	定期安全点検実施回数			12回	16回	
	設備・備品の不備による事故			0件	0件	
	消防・防災訓練実施回数			2回	2回	
	安全講習会実施回数			2回	2回	
	個人情報保護講習会実施回数			1回	1回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	①安全管理マニュアルに基づいたチェック表に沿って日常点検を実施し、施設・設備の安全性を確保しました。また日常点検では補うことができない箇所については、定期点検、法定点検を実施し、状態を把握することで、改善箇所の早期発見と早期対応を図りました。このほか四半期毎に本社職員と定期確認を行いました。 ②緊急連絡系統図を事務所に掲示し、所管課、職員間などの連絡体制を明確にしました。市と各老人福祉センターによる定例会議の中では、各施設における緊急対応の事例や休日の連絡体制についての確認を行いました。施設職員においては緊急時に迅速な危機管理体制をつくれるよう、定期的な確認を行ったほか、危機管理に関する各種マニュアルに沿って、職員研修会を実施しました。日常の巡回や消毒作業は定期的実施し、利用者の安全の確認・確保に努めました。 ③地震や火災などを想定した訓練として、消防防災訓練を児童館と合同で2回実施し、一般利用者にも参加していただきました。その他被災時を想定した外部避難場所への経路確認や、誘導に伴う注意点や問題点を話し合い、職員の防災意識を高めました。 ④当社の個人情報保護規定に基づき、職員研修を実施しました。個人情報保護関連資料を含めた各種マニュアルは、全職員がいつでも確認できる環境を整えており、保存の必要がなくなった関係書類は裁断処理を行い、確実に破棄しました。また、事務用のインターネット回線にはセキュリティルーターを導入しています。					
施設所管課コメント	施設の安全対策、危機管理に備えた研修など適切に行っている。個人情報保護に関しても職員研修を行うなど、適切に取り組んでいる。					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	25	25	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	16	20	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	15	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	20	20	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	16	16	
評価点合計	100	92	96	
総合評価		A (優)	A (優)	

第3次評価（選定委員会評価）	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別 紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3ヵ年の情報を記入してください。

決算年次	令和5年3月期	令和6年3月期	令和7年3月期
資産総額	74,358,064	65,026,176	87,730,427
売上高	338,434,405	306,129,407	343,389,254
経常利益	2,386,795	454,775	2,044,400
当期利益	2,221,395	289,375	1,879,000
経常収支比率	100.7%	100.2%	100.6%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和5年3月期	令和6年3月期	令和7年3月期
経常費用	341,813,718	306,645,202	342,485,580
経常収益	344,200,513	307,099,977	344,529,980
経常収支比率	100.70%	100.15%	100.59%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

令和7年3月期の法人決算では、経常利益・経常収支比率ともプラスとなり、健全な財政状況を維持しています。年度末には自主負担により児童館遊具を一部更新しました。